

## コリント人への手紙— 12-14 章 教会に与えられた靈的賜物

今日、私たちは第一コリントの主要な部分に来ています。もうすでにこの教会がどれほど厄介な問題を抱えているか、パウロが信徒たちに語りかけ、取り組まなければならないいくつかの異なる亀裂や不一致を見てきました。パウロ、アポロやその他の使徒ら数名の指導者たちをめぐって形成してしまった派閥に関する取り組みから始まりました。パウロはそれに関して教会がどのように教会指導者たちを聖書的に捉えるべきかについて、1-4章の大部分を費やして教えました。そして、5-7章では、彼は教会規律と教会内で容認されていた性的不品行とそれらに関連した問題を取り上げました。そして、私たちが学び終えたばかりの8-11章で、パウロはその多くを偶像に供えられた食べ物について、また女性のかぶり物についても、そして最後に、先週、主の晩餐に正しく参加する事に関連した具体的な問題を取り上げています。これまで二度行ってきたように、今日は第一コリント12-14章の聖句全体の概要を示して説明し、これらの部分をちょうどイースターにかかるイエス・キリストの復活の検討となる15章まで、説教で取り上げていきます。この部分は新約聖書にあるパウロの靈的賜物についての最も完全な見解です。彼は当時のコリント教会でこれらの賜物についての誤解が生み出した問題を取り上げています。そして、今日も同じ問題が存在し続けています。おそらく、これらの問題に取り組んでいく靈的賜物を話し合っていく時 生じてくる問題に関しては同じ結論に落ち着くことはないでしょう。しかし、私たちがどんな賜物をそれぞれが持っていたとしても、それらの賜物をキリストの体を結束して建て上げるために用いる事に関して、聖霊なる神が彼の僕であるパウロを通して伝えることを学ぶ時、私たちが一致することを望みます。まず、コリント人への手紙—12章1-3節を読んで行き始めましょう。**コリント人への手紙 第一 12章~14章 12:1 さて、兄弟たち。御靈の賜物については、私はあなたがたに知らずにいてほしくありません。**

**2 ご存じのとおり、あなたがたが異教徒であったときには、誘われるまま、ものを言えない偶像のところに引かれて行きました。3 ですから、あなたがたに次のことを教えておきます。神の御靈によって語る者はだれも「イエスは、のろわれよ」と言うことはなく、また、聖靈によるのであれば、だれも「イエスは主です」と言うことはできません。**

パウロは教会が靈的賜物が何であるかを理解し、それらを地域教会でどう用いるかについて懸念していました。実際はわかりませんが、この3章を読み通していくとこれらの靈的賜物がまた新たな教会での不一致の元となっているようで、パウロはそれらについて話すことを望んでいました。そして、その考察の初っ端に、靈的なもの、つまり神なる聖霊 からくる真の賜物と主張されているものの真価を問います。神からの靈的賜物は神の御子イエス・キリストに関しての神が御言葉に啓示した事に決して相反することはありません。次の三つの章で、パウロは賜物と用い方、異言を語る賜物を中心として話します。そして、反対に、聖霊の下に賜物を用いている人は聖書で啓示されているイエス・キリストに反することを行うことは決してありません。その一方で、それらの賜物を用いている人がイエス・キリストについて真実を語っている場合、彼らが聖霊によってのみ、イエスを受け入れて、彼への信仰を持っていることを示す、イエスを主と呼んでいることから、批判する前に非常に慎重になるべきです。

賜物についてのテーマで始めた後、パウロはキリストの体であって、私たちがどのように賜物を体験し、用いるかに関する4つの異なった領域について言及します。その一番目が要約されているのを12章4-6節で見ます。**4 さて、賜物はいろいろありますが、与える方は同じ御靈です。**

**5 奉仕はいろいろありますが、仕える相手は同じ主です。**

**6 働きはいろいろありますが、同じ神がすべての人の中で、すべての働きをなさいます。7 皆の益となるために、一人ひとりに御靈の現れが与えられているのです。**

パウロが指摘する最初のポイントは私たちそれぞれが一つあるいは幾つかの靈的な賜物を与えられていることです。彼はその後、多くの賜物を詳細に示します。しかし、彼が強調している点は、あなたも私も与えられている靈的な賜物は聖霊から直接与えられたことです。さて、私たちの周りの世から見ればほとんどの場合、生まれ持った才能です。しかし、クリスチャンの観点からは、私たちが何かに長けていたり、何かを行う才能があればそれは聖霊からの賜物であり自分

で得たものではありません。私たちはこれらの賜物を乱用して、自分たちのために使ったり、自分たちの才能にできてしまったりするのでしょうか。残念ですが、そのような場合が多いのです。しかし、4節が言うように、**同じ御霊です、イエス・キリストを知る私たち一人一人に聖霊が内住している**事実は変わりません。そして、聖霊は私たちそれぞれにいろいろな賜物を与えてくれます。異なるという言葉、5節ではいろいろな奉仕はパウロの言っていることの鍵となります。後に、あなたが異言を語るなどの特定の霊的賜物を見せなければ、霊的にまだまだ未熟であると言う人たちがいる事を見ます。いまだに同様の教えを明確に教義で又は慣行によって暗に教えている教会が今日も存在します。しかし、パウロは直ぐに聖霊は皆に同じ賜物を与えないことを示しています。そして、7節が示してくれるとても正当な理由があります。私たちが共に教会のために働けるように、キリストの体は私たち一人一人がさまざまな賜物を持ち寄ることを必要としています。多種の異なる賜物が必要なのです。あまりにも単純な例えですが、こう考えて見て下さい。もし、全員に音楽の才能があっても、誰一人としておもてなしの心を持つ者がいなかったとしたら、素晴らしい音楽に恵まれても、信者同士互いキリストの愛と恵を分かち合う交わりが持てません。12章の終わりで、彼は7章の核心を展開して霊的賜物についての第二の主要点を明確にします。第一コリント12章12-14節を読みましょう。**12 ちょうど、からだの一つでも、多くの部分があり、からだの部分が多くても、一つのからだであるように、キリストもそれと同様です。13 私たちはみな、ユダヤ人もギリシア人も、奴隷も自由人も、一つの御霊によってバプテスマを受けて、一つのからだとなりました。そして、みな一つの御霊を飲んだのです。14 実際、からだはただ一つの部分からではなく、多くの部分から成っています。**さらに12章の27-30節に進みます。**27 あなたがたはキリストのからだであって、一人ひとりはその部分です。28 神は教会の中に、第一に使徒たち、第二に預言者たち、第三に教師たち、そして力あるわざ、そして癒やしの賜物、援助、管理、種々の異言を備えてくださいました。29 皆が使徒でしょうか。皆が預言者でしょうか。皆が教師でしょうか。すべてが力あるわざでしょうか。30 皆が癒やしの賜物を持っているでしょうか。皆が異言を語るでしょうか。皆がその解き明かしをするでしょうか。**

ちょうど、私たちの人体が多くの異なる部分から構成されて一つの完成された健康体となるように、教会も健康的に神に栄光を帰す形で機能するためにはその信徒全員の異なる霊的賜物を必要とします。それらは明らかに全て修辭疑問文です。答えはすべていいえです。誰一人としてそれら全ての賜物を備える者はいません。しかし、他の部分であるキリストの体の人たちとつながり合わされて完成された教会となります。そして私たちそれぞれが神から与えられた賜物を用いて教会での役割を果たします。このセクションを学んで行く時、超自然的なものも含めてそれらの賜物について詳しく話しましょう。今は、ただパウロがあなたの賜物をキリストの体は必要としていると言っていることを理解して下さい。ただ教会に来ることがキリストの信徒としての全てではありません。あなたの特別な賜物がどのように体に適合して、教会内の必要を満たすよう奉仕できるかを見つけ出すことです。今日でも、多くの人たちがそうであるように、異言、癒し、力あるわざなどの超自然的な賜物の方がそれらの特質からより望ましいと感じる教会の人たちもいました。パウロはそれらの見方に反対し、代わりにキリストの体を建て上げる教会で教える賜物や体の他の人たちに仕える賜物がより望ましいと指摘しました。そして、彼は31節の言葉で12章を締めくくりました。<sup>31</sup> **あなたがたは、よりすぐれた賜物を熱心に求めなさい。私は今、はるかにまさる道を示しましょう。**

この**はるかにまさる道**は聖書全体の中でもとてもよく知られている章の一つであるコリント13章へと案内します。第一コリント13章でパウロは霊的賜物に関する第三の要点を分かち合っています。愛は聖霊の多くの賜物の内最高のものであり、全てのクリスチャンに与えられており、キリストの体にあってその賜物を行使できます。彼ら一世紀のクリスチャンと現代のクリスチャンが、誰が一番重要な賜物を備えられているか、また、ある賜物は存在しているのかどうかなどに熱のこもったバトルや論争になるかもしれません。私たちが尊び求める目に見える働きのできる賜物を持たない者たちをあまり重要ではないと考え蔑む（軽んじる）ことさえあります。



パウロはもしそれが靈的賜物から得るものであれば、私たちはどのクリスチャンも分かち合っている愛と言う賜物を持っていないか理解していないと指摘しています。反対に、彼はコリントー13章4-6節で言います。 **4 愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。 5 礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、苛立たず、人がした悪を心に留めず、 6 不正を喜ばずに、真理を喜びます。** そして、その章を13節で締めくくります。 **13 こういうわけで、いつまでも残るのは信仰と希望と愛、これら三つです。その中で一番すぐれているのは愛です。**

靈的賜物がどんな形にしろ分裂の原因なると言うより、むしろ、キリストの体の他の信徒たちを建て上げるよう求めることで私たちを一つにします。私たちは常にそれらの賜物を聖書のこのコリントー13章で愛を定義するように 他の人を愛することを念頭に行使すべきです。

これによって、パウロは今日の教会や信徒の間でも意見が合わない異言で語ると言う特定の賜物について取り組み、彼の第四の要点に移ります。彼は異言で語ることではなく、預言することを望ましい賜物であるといっています。パウロは14章で言います。14章1-4節 **14:1 愛を追い求めなさい。また、御霊の賜物、特に預言することを熱心に求めなさい。**

**2 異言で語る人は、人に向かって語るのではなく、神に向かって語ります。だれも理解できませんが、御霊によって奥義を語るのです。 3 しかし預言する人は、人を育てることばや勧めや慰めを、人に向かって話します。 4 異言で語る人は自らを成長させますが、預言する人は教会を成長させます。**彼は18-19節で続けます。 **18 私は、あなたがたのだれよりも多くの異言で語っていることを、神に感謝しています。 19 しかし教会では、異言で一万のことばを語るよりむしろ、ほかの人たちにも教えるために、私の知性で五つのことばを語りたいと思います。**

異言と預言についての詳細はその聖書箇所を取り上げるときに詳しく見て行きますが、明らかなのは、彼がこの議論を愛が全ての土台であることを前提に進めていることです。私たちは他の人に仕える事、教会にあって他の人を建て上げることに集中するべきであり、預言はそれをするが異言はそれをしないと述べています。異言は教会でその立ち位置があるが、もし、あなたがキリストの体をパウロが言う愛のある方法で建て上げる賜物を求めているのであれば、その賜物は預言であると彼は述べています。

Cessationistsは異言や預言、しるしを行うことなどは使徒の時代の終わりに廃れたと信じる人たち、continuationistsは異言など時代と共にあまり見られなくなっているが今も引き続きあると信じる人たち、その区別を知る皆さんにとっては、これらの聖書箇所と使徒の働きの書に最も多くの考えを左右する議論があります。教会のとってもそれが規範的なのか、暫定的なのか悩むところです。この聖書箇所の詳細についてはより深く掘り下げて行きますが、最初に言っておきたい事は、私は完全な cessationistとなつて奇跡的な賜物である異言などが完全に廃れてしまったと、パウロがそう言う機会があつたにも関わらず言っていないので、信じ難いです。その反面、全面的に continuationist の教えを受け入れる事はさまざまな靈的賜物の聖書から乖離した理解をも容認することになる可能性もあります。もし、あなたがどちらかを強く支持するようであれば、これから私が述べる事が気に入らないかもしれません。いまも異言などが存在すると考える方は、聖書が明確に全ての人々が異言を語る賜物を持ってはおらず、また、それらは求めるべき賜物ではないとまで言及していることに注意するべきです。どちらかと言うと、私は支持する異言などは使徒の時代で終わったと信じる側の人たちは、聖書はいつ異言が廃れると言っておらず、一世紀の地域教会で普通に行われていた異言や他の超自然的な賜物を受け入れています。ですから、明確な答えを出す代わりに、パウロに倣って、イエス・キリストを褒め称える靈的賜物は全て聖霊の御業であると認めます。そこで、12章3節に戻ります。 **また、聖霊によるのであれば、だれも「イエスは主です」と言うことはできません。**

その後、14章の終わりにあります、教会で靈的賜物を用いることの全体の議論を締めくくるパウロの最後の要点に進みます。コリントー14章26節を見てください。 **26 それでは、兄弟たち、どうすればよいのでしょうか。あなたがたが集まる時には、それぞれが賛美したり、教えた**

り、啓示を告げたり、異言を話したり、解き明かしたりすることができます。そのすべてのことを、成長に役立てるためにしなさい。

そして、最後の2節、39-40節に行きます。39 ですから、私の兄弟たち、預言することを熱心に求めなさい。また、異言で語ることを禁じてはいけません。40 ただ、すべてのことを適切に、秩序正しく行いなさい。

聖霊が僕であるパウロを通して強調している5つ目で最後の要点は礼拝式において行われる全ては、キリストの体を建て上げるために秩序立てて正しく行われなければならないことです。パウロにとり、また、今日、神の私たちへの啓示を受けた私たちにとっても、教会の全ては教会のためなのです。個人のためではありません。牧師や長老、ディーコンのためでもありません。全ては教会の体が建て上げられ、私たち全員がエペソ人への手紙4章13節で、言うようになるまで成長するのです。エペソ人への手紙 4章13節<sup>13</sup> 私たちはみな、神の御子に対する信仰と知識において一つとなり、一人の成熟した大人となって、キリストの満ち満ちた身丈にまで達するのです。

これが、私たちが、キリストの体として一緒に集まる時に行う全てのための目標です。神は私たちに体を建て上げるために必要な霊的賜物を与えられました。そして、一人一人が何かしら目標のため貢献するのです。あなたは他に何ができますか。実際、私たちはさまざまな才能や、スキルなどを備えており、それらを用いてキリストの体の中での役割を果たすために貢献し、聖書の言う、キリストの似姿に変えられて行く旅路のための助けになることができます。もし、あなたに何も出来なければ、聖書は、こう言います。あなたがキリストの体に与えることが出来る最高のギフトは他の人を愛することです。最後に残る質問です。あなたはその賜物を用いていますか？祈りましょう。

## 1 Corinthians 12-14 Spiritual Gifts in the Church

Today we come to the next major section of First Corinthians. We have already seen how messy this church is and several different types of disunity that Paul is having to address to these people. It started with addressing factions in the church that had grown up around various leading personalities, Paul, Apollos and other Apostles. That covered most of chapters 1-4 as Paul taught them how to view church leadership Biblically. Then in chapters 5 through 7, he addressed church discipline and sexual immorality being tolerated in the church and issues related to that. And then from chapters 8-11, which we just finished he addresses specific issues related to eating food offered to idols for the most part, as well as headcoverings on women and finally, last week, correctly participating in the Lord's Supper. As we have done twice before now, I want to take today and give an overview of this entire passage from First Corinthians 12 through chapter 14, and then I will be preaching through this section all the way until Easter when we reach chapter 15 and the discussion of the resurrection of Jesus Christ. This section is Paul's most complete discussion of spiritual gifts found in the New Testament. He is addressing problems that a misunderstanding of these gifts created in the Corinthian church of that day. And those same issues continue to be present today. Likely, we are not going to all share the same conclusions as we address those questions that arise when we discuss spiritual gifts. But I hope that as we study what God the Holy Spirit tells us through his servant Paul that we will be united around the use of those gifts to build up the Body of Christ in unity no matter what gift each of us possess.

Let's begin by reading the opening verses of **1 Corinthians 12:1-3. Now concerning spiritual gifts, brothers, I do not want you to be uninformed. 2 You know that when you were pagans you were led astray to mute idols, however you were led. 3 Therefore I want you to understand that no one speaking in the Spirit of God ever says "Jesus is accursed!" and no one can say "Jesus is Lord" except in the Holy Spirit.** Paul is concerned that the church understand what spiritual gifts are and how to use them in the local church. We don't know, but it seems as we read through these three chapters that these spiritual gifts had become another source of disunity in the church so Paul wanted to address them. And right at the very beginning of the discussion, he puts one very huge test of any true gift that claims to be spiritual in nature, in other words, from God the Holy Spirit. No spiritual gift that is of God can ever contradict what God has revealed in the Word of God regarding God the Son, Jesus Christ. Much of what he will talk about in these three chapters revolves around the gift and use of tongues so a speaking gift. So, on the one hand, any person truly utilizing their gift under the control of the Holy Spirit will never go against Jesus Christ as he is revealed in Scripture. On the other hand, if someone using such a gift is saying true things about Jesus Christ, then we must be very careful before criticizing them since calling Jesus, Lord, which shows acceptance of him and faith in him, only comes from the Holy Spirit.

After this opening to the subject of gifts, Paul deals with 4 different areas related to how we experience and use gifts in the Body of Christ. We see the first one summarized in chapter **12 verses 4-6. 4 Now there are varieties of gifts, but the same Spirit; 5 and there are varieties of service, but the same Lord; 6 and there are varieties of activities, but it is the same God who empowers them all in everyone. 7 To each is given the manifestation of the Spirit for the common good.** So, the first point Paul makes about spiritual gifts is that each of us have been given a gift or even several gifts. He will

go on to list many of those gifts in detail, but the point he is making is that you and I have spiritual gifts that come directly from the Holy Spirit. Now to the world around us, they may be seen many times as innate talents, but from a Christian perspective anything we are skilled at and capable of doing is a gift from the Holy Spirit and not our own doing. Can we misuse these gifts to make them about ourselves and our abilities? Unfortunately, we can and many times do. But the fact remains that the Holy Spirit has indwelled each of us who know Jesus Christ (as verse 4 says, the same Spirit)... And the Holy Spirit gives each of us different gifts. That word different or as verse 5 says in English, varieties of service, is key to what Paul is saying. Later we will see that there seemed to be people saying that if you didn't exhibit a particular spiritual gift such as tongues then you were not spiritual enough. There are still churches today that either explicitly in their doctrine or implicitly in their practice teach the same thing. But Paul shows right away that the Holy Spirit does not give the same gifts to everyone.

And there is a very good reason for that as verse 7 introduces us to. The Body of Christ needs each of us to have different gifts to bring to the Body so that together we work for the good of the church, the Body of Christ. That requires different giftings. I know it is simplistic but think about it like this. If everyone was gifted at music, but no one was gifted at hospitality, you may have wonderful music, but terrible church fellowships. So at the end of chapter 12, he expands on the point of chapter 7 to make his **second key point about spiritual gifts. We need each other's gifts in the Body of Christ.** Let's read **1Corinthians 12:12-14. 12For just as the body is one and has many members, and all the members of the body, though many, are one body, so it is with Christ. 13For in one Spirit we were all baptized into one body—Jews or Greeks, slaves or free—and all were made to drink of one Spirit. 14For the body does not consist of one member but of many.** Then drop down to verses **27 – 30** of chapter 12. **27Now you are the body of Christ and individually members of it. 28And God has appointed in the church first apostles, second prophets, third teachers, then miracles, then gifts of healing, helping, administrating, and various kinds of tongues. 29Are all apostles? Are all prophets? Are all teachers? Do all work miracles? 30Do all possess gifts of healing? Do all speak with tongues? Do all interpret?** Just as our human bodies have many different parts that work together to make up one complete, healthy body, the church needs all its members with different spiritual gifts to function in a healthy and God honoring way. The questions he asks are all clearly rhetorical. The answer is no. None of us have all those gifts. But joined together with all the other parts, people of the body of Christ, we make up the complete church. And each one of us has a part to play in the church by using the gifts that God has given us. We will discuss these gifts including the supernatural ones in more detail as we go through this section, but for now just understand that Paul saying that your gift is necessary to the Body of Christ. So, just coming to church is not the entirety of being a member of Christ. It is finding out how your particular gifts fit into the Body and serving to meet the needs within the church.

Just as many do now, there were those in the church who felt that the supernatural types of gifts – tongues, healing, miracles, those were more desirable because of the nature of those gifts. Paul is pushing back against that view and instead pointing to other gifts like teaching in the church that build up the Body of Christ, and even gifts that serve others in the Body as those gifts to be more desirable. So he ends chapter 12 by saying in **verse 31, But earnestly desire the higher gifts. And I will show you a still more excellent way.** This more excellent way opens up one of the most well-known



chapters in the entire Bible, 1 Corinthians 13. In First Corinthians 13, Paul will share his **3<sup>rd</sup> point regarding spiritual gifts. Love is the greatest of the gifts from the Holy Spirit and is available to every Christian to have and practice in the Body of Christ.** These first century Christians and Christians today can get in heated battles and arguments over who has the most important gift in the church or whether certain gifts exist at all. We can even look down on those we think are less important because they don't have the public gifts we honor and seek most. Paul points out that if that is what we get out of spiritual gifts, then we don't have or understand the gift that is shared by every Christian – love. On the contrary, he says in **1 Corinthians 13:4-6 4Love is patient and kind; love does not envy or boast; it is not arrogant 5or rude. It does not insist on its own way; it is not irritable or resentful; 6it does not rejoice at wrongdoing, but rejoices with the truth. 7Love bears all things, believes all things, hopes all things, endures all things.** And he ends the chapter with verse 13. **13So now faith, hope, and love abide, these three; but the greatest of these is love.** So rather than spiritual gifts being in any way a cause of disunity, they should unify us in seeking to build up other members of the body of Christ. So we must always exercise those gifts with a focus on loving others in the way that the Bible here in 1 Corinthians 13 defines love.

This brings Paul to his **4<sup>th</sup> point** as he addresses a particular gift that is still a disagreed upon area between churches and believers today, the gift of speaking in tongues. **He says that prophecy, not tongues is the gift to be desired.** Paul says in chapter 14, **verses 1-4, 1Pursue love, and earnestly desire the spiritual gifts, especially that you may prophesy. 2For one who speaks in a tongue speaks not to men but to God; for no one understands him, but he utters mysteries in the Spirit. 3On the other hand, the one who prophesies speaks to people for their upbuilding and encouragement and consolation. 4The one who speaks in a tongue builds up himself, but the one who prophesies builds up the church.** He then continues in verses 18-19, **18I thank God that I speak in tongues more than all of you. 19Nevertheless, in church I would rather speak five words with my mind in order to instruct others, than ten thousand words in a tongue.** We will discuss in more detail the specifics of tongues and prophecy when we get to this passage, but it is clear that he is continuing this discussion based on love being foundational to everything. We are to be focusing on serving others, building others up in the church, and he says that prophecy does that and tongues does not. He says there is a place for tongues within the church, but if you are seeking to use a gift to build up the body of Christ in the loving way that he is talking about, then prophecy is that gift.

For those of you who know the distinction between cessationists and continuationists, these are the passages where most of the arguments hinge on, as well as the book of Acts and whether it is normative for the church or transitional. I will get more into specifics in this passage, but let me just say right up front, I find it difficult to be a complete cessationist and believe that miraculous gifts like tongues have completely ceased when Paul had the chance to say that here, but did not. But, to say that we should completely embrace continuationist teaching opens the door to a wide variety of understanding of spiritual gifts that seem very out of line with Scripture. So, if you are firmly on one side or the other, let me just say you might not like what I have to say. On the continuationist side, you must be careful to not require tongues speaking or other supernatural gifts where the Bible clearly says not everyone will have them, and even says they are not the gifts to seek. But on the cessationist side, where I generally lean, we need to see that the Bible does not say when tongues will cease and accepts

tongues and other supernatural type of gifts as being regularly practiced in the first century local churches.

So, instead of giving a definitive answer, I think I am following Paul's example to just acknowledge the work of the Holy Spirit in every spiritual gift that exalts Jesus Christ. That's where we go back to 12:3, **no one can say "Jesus is Lord" except in the Holy Spirit**. And after that to move onto Paul's final point to wrap up the entire discussion of the use of Spiritual Gifts in the church found at the end of chapter 14. Look at **1 Corinthians 14:26 26What then, brothers? When you come together, each one has a hymn, a lesson, a revelation, a tongue, or an interpretation. Let all things be done for building up.** Then go to the last two verses 39 and 40. **39So, my brothers, earnestly desire to prophesy, and do not forbid speaking in tongues. 40But all things should be done decently and in order.** The Holy Spirit's **fifth and final point that he makes through his servant Paul is that everything done in the worship service should be done in an orderly manner for the purpose of building up the body of Christ.** For Paul, and that means for us as God's revelation to us today, everything in the church is about the church! It's not about any individual. It's not even about the Elders or Pastors and Deacons. Its about everyone being built up in the Body of Christ until we all **"attain to the unity of the faith and of the knowledge of the Son of God, to mature manhood, to the measure of the stature of the fullness of Christ..."** as **Ephesians 4:13** says. This is our goal for everything we do, everytime we gather together as the Body of Christ. God has given us spiritual gifts to help us be better at that purpose of building up the body. And every one of us has something to contribute towards that goal. What is it that you can do? What talent, skill, really...gift, do you have that you can contribute to fulfill your role within the body of Christ and help others on their journey to Christlikeness? If you can do nothing else, the Bible says, the greatest gift you can give to the Body of Christ is to love others. The only question that remains is this – Are you using that gift? Let's pray.